



東京赤坂ロータリークラブ

NO. 1129 / 2012. 12. 14

例 会/ANA インターコンチネンタルホテル東京

Tel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂 2-19-8

赤坂 2 丁目アネックス 3F

TeL 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

http://www.akasakarotary.com/

東京赤坂ロータリークラブ週報 Weekly Report

2012～2013 年度クラブテーマ
会長 尾関 武男

「僅かなことにも手を差し伸べよう、そして信頼と絆」
Give a hand to even to the small things. Build trust and bonds.

●本日の例会/ 2012 年 12 月 14 日 第 1236 回

卓話 : 「大好きドラえもん」
東京世田谷ロータリークラブ 別紙 壮一 氏

●前回報告/2012 年 12 月 7 日 第 1235 回例会

卓話 : 「2013 年 展望 陽はまた昇るか」

日経BP社 執行役員
日経ビジネス発行人
浅見 直樹 氏



社会奉仕委員会 : (橋本委員長)

20 日開催の忘年家族会では従来チャリティーバザーを実施していましたが、今回は初めての試みと致しましてビンゴゲームを行う事と致しました。ビンゴ券は参加会員の全てに購入頂き、家族・ゲストは希望者に購入頂きます。費用は 5,000 円です。ビンゴ券の売り上げはチャリティーに利用させていただきますので、ビンゴ当選の景品は皆様方の提供をお願い致しております。本日も景品を頂いておりますが、まだまだ不足です。景品提供の受付を 14 日の例会で締め切りますので、会員の皆様で未だ景品の提供をされていない方は 14 日の例会に持参願います。チャリティーと忘年家族会を盛り上げるため皆様の協力をお願い致します。

出席報告 :

東京赤坂 RC : 会員 40 名 / 出席 22 ・ 欠席 18 名

ゲスト : 浅見直樹 (卓話)、和田信行、斉藤治彦

ビジター : 脇龍太郎 (東京池袋 RC)

敬称略 4 名

●次回予告/ 2012 年 12 月 20 日 (木) 第 1237 例会

夜間例会・忘年家族会

会場 : ANA インターコンチネンタルホテル東京
B1 「ギャラクシー」

18:00～ 例会 (17:30～ 登録開始)

18:30～ 忘年家族会

元宝塚娘役の大鳥れい氏リサイタル

※ 12 月 21 日 (金) の例会はございません。

年次総会 (尾関会長より)

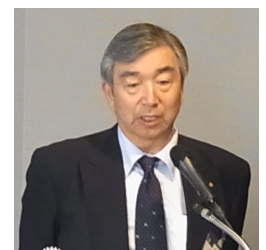
ご来客の皆様には恐縮でございますが、本日クラブ細則第 5 条第 1 節の規定により、当クラブの年次総会を開き、次年度 (2013～2014 年度) クラブ理事・役員の選挙を行いたいと思います。クラブ細則第 5 条第 3 節の規定により、会員総数の 1/3 をもって年次総会の定足数としておりますが、本日の出席会員は 22 名で定足数を満たしております。年次総会は適法に成立いたしました。次年度 (2013～2014 年度) クラブ理事・役員につきましては、1 ヶ月前の 11 月 2 日の例会において、指名委員会より、会長ノミニー、副会長、幹事、会計及び 5 名の理事の指名をいたしました。本日までに、それ以外の候補者のご指名がございませんので、この方々を当選者といたします。それでは次年度理事・役員の当選者の指名を申し上げます。

会長 (役員) (前年度決定済み)	西澤 民夫さん
会長ノミニー (役員)	石井 謙次さん
副会長 (役員)	橋本 年男さん
幹 事 (役員)	田村 昭二さん
会 計 (役員)	松本 智さん
理 事	尾上 寛さん
理 事	岡澤 実さん
理 事	小林 博茂さん
理 事	大日方 真さん
理 事	佐藤 仁さん

以上 9 名の方々でございます。次年度よろしく願いいたします。



次年度理事・役員を代表して
西澤次期会長より一言ご挨拶をお願いいたします。



12 月理事会議事録

日時 2012 年 12 月 7 日（金）例会後 13:40～15:00
場所 ANA インターコンチネンタルホテル東京 37F 「リブラ」
出席者 尾関、高須、清水、西澤、飯島、尾上、村山、
岩上、田村、橋本、石井 計 12 名（敬称略）

【決議事項】

1. 渡部会員の退会を承認。
2. 庄司会員の休会を承認。
3. 風の子会からの感謝状授与式を 12 月 20 日（木）忘年家族会で行うことを承認。
4. 12 月 20 日（木）忘年家族会で風の子会岡本裕介所長へ寄付 10 万円を贈呈することを承認。岡本所長を忘年家族会へご招待することを承認。
5. 地区会員増強委員会「SAKUJI 作戦」へ申請することを承認。全会員へ理解いただくため、地区からの SAKUJI 作戦説明の書面を配布することとする。
6. 広島県福山赤坂 RC との姉妹クラブ締結に伴う委員会構成については小林会員へ一任することを承認。
7. 親睦旅行については、広島平和会議、陸前高田中学校整備とは別に行うことを承認。
8. 忘年家族会プログラムについて承認。ビンゴゲームの司会は、尾上会員、佐藤会員、関会員で行うこととする。
9. 卓話について次の通り承認。1 月 11 日三遊亭楽大氏「新春落語」、1 月 25 日大宅映子氏、2 月 1 日泉晶子氏ピアノコンサート、2 月 8 日 RI2750 地区職業奉仕委員長 日野正紀氏。
10. 1 月 18 日のクラブ協議会は「休会制度についての協議」とすることを承認。従来のクラブ協議会テーマの「各委員会上期活動報告、下期活動計画」については、全会員へ報告書と計画書のコピーを配布することで周知することとする。
11. 11 月会計報告は 12 月理事会で出来なかったため、1 月の理事会で発表、協議する。上期収支報告、下期会費請求について、会費未納者、休会者の会費等について協議。



12月 7日(金) / 7件 14,000円
累計 505,000円

多額の寄付を有難うございました。(敬称略)

尾関武男/浅見様、本日の卓話よろしくお願ひします。
西澤民夫/斉藤さん、よくいらっしやいました。浅見さん卓話楽しみにしています。岩上義明/浅見様、本日の卓話楽しみにしておりました。宜しくお願ひ致します。
田村昭二/河邊さん先日の“聖この夜”抜群の演技力でした。島本さんニコニコ御苦勞様です。小林博茂/総選挙に突入しましたが誰を何処を支持したらいいのか解りませんという人が70%という調査もあるそうです。島本さんニコニコありがとうございます。土屋東一/島本さんニコニコ御苦勞様です。河邊幸夫/田村さん、石井さん、岩上さん舞台ありがとうございました。島本さんお疲れ様です。佐藤仁/浅見さん楽しみにしています。島本さんニコニコ御苦勞様です。

※ 年末年始の休会は、12 月 28 日(金)、1 月 4 日(金)です。年始初例会は、1 月 11 日（金）となります。

日本国債の実力（その 2）

マスコミやエコノミストの間では「国債（国の借金）は将来世代へのつけ回しである。」「我々（現世代）が楽をして、子や孫たちの世代に負担を押し付けてはいけない。」と言う批判があります。この批判を聞くと、現役世代の人間は罪悪感を感じてしまいます。しかし、この批判について冷静に客観的に以下の順番で考えてみましょう。

- ①今、国が国民から 100 万円のお金を借りるとします。
 - ②具体的には、100 万円の国債を発行して国民に買ってもらうわけです。
 - ③すると当然、100 万円のお金が「国民」から「国」に移動します。
 - ④この時点で、国には「100 万円の負債（借金）」、国民には「100 万円の資産（国債）」が計上されます。
 - ⑤国債は今の財務省の運用では、60 年償還ルールになっています。これは「道路を造ったら 60 年にわたって利益が及ぶであろう、だからその 60 年で費用を負担して返済を終えるのが適当である。」という考え方に基づいています。
 - ⑥今から 60 年後、国がこの借金を返すために 100 万円の増税をすれば将来世代の負担は確かに 100 万円増えますが、国は増税によって得たお金を使って国債を償還するわけですから、その 100 万円はそのまま将来世代の国民に払われます。
 - ⑦従って。「国民」にとっては差引ゼロで、負担が増えるわけではありません。これは自明の理です。
 - ⑧政府は「徴税権」と言う「資産」を簿外にもっています。⑥の将来の 100 万円の増税はこの「徴税権」に基づくものです。
 - ⑨国債償還の為のお金は日銀でいくらでも刷れます。従って日本国債に関してはデフォルトはあり得ないと言っても過言ではないと思います。
- 日本国債や米国国債は自国通貨で発行されており、日本国債の場合には 92% を日本人（個人・法人など）が保有しています。財務省でも自国通貨で発行されている日本国債にデフォルトはあり得ないと言う事を外国に対してホームページで公式に PR しています。ギリシア国債は 75% を外国人が保有し、他人任せの金融政策で、一国の経済をうまく運営するのは至難です。共通通貨制度（ユーロ）には市場が広がると言うメリットがあるが、金融政策の自由度を失うと言うデメリットの方が大きいと思います。償還担保付の日本国債の信用度は世界でもベスト 3 に入ると言っても良いと思います。

追記：私事で恐縮ですが、母の介護に専念する為に、平成 25 年 1 月より取り敢えず半年間、クラブを休会することに致しました。13 余年でしたが皆様方のご支援と、ご厚情に厚く感謝申しあげます。またメンボウ原稿については今後も引き続き投稿させていただきます。